

2006年度 早稲田大学 法学部

日本史 解答

I 古代・中世の史料 <やや易>

問1 お 問2 金光明最勝王経 問3 う 問4 平安京

問5 い 問6 三善清行 問7 源頼朝

問8 大犯三カ条(大犯三箇条、大犯三ヵ条、大犯三ヶ条、大犯三か条でも正解)

問9 う 問10 い

問3は「お」が嵯峨天皇の時代ととらえる考えもあるが、あきらかに誤っている「う」を選んでおこう。問5は応天門の変の時の政権は基経の父良房だが、「昭宣公」は基経のおくりなだった。「昭宣公」だけで解答を導き出す問題は、めったに出題されず、難問。

II 中世・近世の「徳政」 <標準>

問1 え 問2 得宗 問3 う 問4 柳生 問5 う

問6 北条氏康 問7 質地 問8 い 問9 田沼意知 問10 え

問1・3・5・6など、早とちりすると間違える問題が多く、意外と点差がついたかもしれない。問5・6がやや難しく、問10が難問である。この大問で7割は正解しないとまずいだらう。

III 明治時代の政治・外交 <標準>

問1 あ 問2 い 問3 い 問4 国民之友 問5 民友社

問6 え 問7 う 問8 憲政党 問9 自由党 問10 徳富蘇峰

早稲田が好む憲政党関係が出題されている。問3・7がやや難しい。問4・5・10は『ネーション』だけで、徳富蘇峰の『国民之友』に思い至ればすばらしいが、それができなくても「遼東還付」で「精神的にほとんど別人となった」からはっきりするだろう。社名は雑誌名の「二字を抽出した」ことも大きなヒントになる。1994年慶應大法学部でも同じ文章を使って、類似問題が出されていたため、早慶大の両方をめざす法学部志望生で過去問をそこまで解いていた人にはうれしかった問題だろう。今年度は慶應大文学部の過去問を45年分解いた人もいたほどだから。

IV 戦後の賠償問題 <やや難>

問1 い 問2 ケナン(ジョージ・ケナンでも正解) 問3 ロイヤル

問4 インド 問5 う 問6 え 問7 朴正熙(パクチョンヒでも正解かもしれません)

問8 い 問9 い 問10 日中平和友好条約

問1・5・6・8はやや難しい。ただし、勘で正解してしまう人も結構いるようだ。問2・9は難問。問2の「ケナン」は誰も正解できないだろう。2005年3月に亡くなった人物であった。

講評

早稲田の中では、法学部はわりと「知識量」というか「語彙量」で解く問題が多いイメージがあるが、今回は「考えて」解く問題が目についた。明治・立教大クラスの入試問題とは、その辺りに格の違いがあって、早大日本史に対する準備が必要となってくるのである。